

「二宮町観光まちづくり戦略」(案)に対する意見募集の実施結果 (意見と町の考え方)

募集期間 令和5年1月4日(水)～ 令和5年2月3日(金)

意見数 : 21件

意見提出人数 : 6人(電子メール2件、電子申請4件)

意見の概要及び町の考え方 ※提出されたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

No	意見の概要	町の考え方
1	<p>二宮駅北側のロータリーは一般車両の進入が禁止されていますが交通標示の見誤り等で間違って入る車両があります。分からずに侵入し取り締まりを受けた車両の運転手が他の地域の人だと二宮町が嫌いになるように思います。このような場面を見かけるたびに二宮町の印象が悪化しているようでとても残念な思いをしております。</p> <p>二宮町でも一般車両進入禁止の立て看板を設置しているようですがはじめて通る運転手には分かりづらいため、上記のようなことが発生していると思われます。</p> <p>改善案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 静岡県の熱海駅のようにバス、タクシーレーンを青色にする。 2. 問題のT字路に白い点線がありますが何の役割があるか分かりません。T字路内の道路に一般車両向けの矢印を表示して視認性を向上させる。 <p>二宮町へのファンを手放さないようご努力をお願いします。</p>	<p>二宮町へおいでになった方に楽しい気分のままお帰りいただきたいのは、行政含め町全体の思いだと思います。</p> <p>現状の啓発策として、線路沿い1級町道1号線から向かう際の主たる進路が右折であることを白破線により示しているほか、交差点手前および直進先の路面に、直進はバスタクシーに限る旨の表示を記し、交差点内の路面を赤色にして注視を促しています。</p> <p>大磯警察署とも協議をしていますが、現場のスペースの問題から、これ以上の物理的な設備設置は困難な状況です。</p> <p>また、観光客の増える菜の花ウォッチング期間中は啓発の立て看板を設置するとともに、期間中の休日には誤進入を防ぐため人を配置して案内を行っています。</p>
No	意見の概要	町の考え方
2	<p>農業従事者が増えているのに一部では農地が足りないと聞く、農地ナビの充実もさることながら町担当の積極性が必要。【観光資源となるべく山の恵みを増すべき】</p>	<p>農作物の栽培をとおして土に触れたいという方は増えていますが、農林業センサスによると、実際の町内農業従事者は年々減少している状況です。また、農地の利用にあっては、農地法のもとで適正な利用となるよう啓発や案内に努めていきます。</p>
No	意見の概要	町の考え方
3	<p>公園の統廃合計画がある中、進捗は低く感じる、目的別とした公園も完成後に目的を果たせないのでは無駄な支出。【目標設定が出来ていないのではないか】</p>	<p>公園統廃合計画では、目的別に公園を整理しながら、全体面積を2割縮減することとし、既にこれを達成しています。今後は、観光振興の意味からも、現存する公園の適切な維持管理に努めていきます。</p>

No	意見の概要	町の考え方
4	吾妻山は町一番の観光拠点だが菜の花ヒットから15年ほど大きな変化はない、借地が大半との理由だが毎年黒字繰り越しをして無策は残念。【目標設定がない】	町の観光拠点である吾妻山公園を中心として町内を周遊していただける事業策定や情報発信が必要であると考えます。町観光協会とともに検討を続けます。
5	自然、環境と言うが海も川も入れる場所、と言うのはない。【特に海は観光にもつながる】	海岸については、国の直轄事業として養浜工事が実施されています。完成までには十数年を要すると把握しており、その間は海水浴場のある近隣市町とは異なり、静かに海を楽しんでいただける町としての魅力を発信していきます。
6	植物園はあるが動物園がない、観光でも町ならではの実物を見る機会が必要。	二宮町ならではの今ある魅力を広く発信していくこととしています。
7	町内在住の高齢者は町外脱出の希望者が多い、理由は住みにくいからとの事。	本戦略8ページの図のように、観光振興推進による波及効果として、インフラ整備や持続可能な地域づくりにつなげたい考えです。
8	他力本願の魅力づくりでは大きな成果は得られない、町は何をしているのか。	本戦略25ページに、観光振興における町の役割を示しています。
9	71号線の渋滞は2か所になったと苦言が多い、警察との協議はあるのか。	町担当課へも要望をいただいております、大磯警察署交通課と協議を行っております。
10	北口ロータリーでの進入禁止検挙は相変わらず、過失が原因なのだから防止策を警察と共に検討すべき。	上記、No1に対する回答と同様です。
11	第5章の「住み」「学び」「遊ぶ」は出来るかもしれないが【働く】はどの様に考えているのか、無理なことではないか。	25ページの「二宮町商工会の役割」に商工事業者に対する事業継続と創業支援を、「町の役割」に商工業振興の推進を、それぞれ追記しました。

No	意見の概要	町の考え方
12	特産品ブランドに求められるのは付加価値ではなく真価ではないだろうか。	本戦略 24 ページで示す二宮ブランドとは、「地域（二宮町）」+「商品」としての地域ブランドを意味しており、商品としての質の向上はもとより、町のイメージ（自然、歴史・文化など）を付加することを目的としています。
No	意見の概要	町の考え方
13	宿泊施設について誘致や積極性は示されているのか、わずかしき無いことにも問題意識を持つべきだと思う。	首都圏の都市部や近隣から日帰りで観光ができるマイクロツーリズムの町として情報発信に努めるところであり、小規模な町域に宿泊施設の誘致は現在のところ考えていませんが、20 ページの「観光拠点施設の活用」において、空き家の活用手段としての民泊の検討を追記しました。
No	意見の概要	町の考え方
14	<p>地域活性化のために壁やシャッターに絵を描く取り組みがなされていますが、公共の場に何かを描くことの是非に関する議論が十分になされたとは言い難い状況でクライアントと描き手の間だけで合意がなされひとつのジャンルの絵だけが増えていくことは、公共の景観を破壊するものではないでしょうか。</p> <p>また、アートプロジェクトとして実施するのであれば、その場所にふさわしいテーマを決め、それに基づきアーティストを公募し作品を募るのが本来のありかたです。クライアントと描き手の間でだけ合意がなされて公共の場に書かれていることに問題があります。建物の持ち主が絵を描くことを許可していることから、たとえその絵に批判的な意見を持つ町民がいても、反論できずに議論の対象としてあげられない問題をはらみます。これは落書きによる抑圧ともいえます。</p> <p>批判的な意見は言いづらいからこそ、公共的な場の景観については町内アンケートを取るなど、広く意見を集める機会を設ける必要があるかと存じます。</p>	町内に壁画を増やし、アートの町として盛り上げようとする町民活動が行われていることは町としても承知しています。壁画を描く建物の所有者の依頼や同意のもとに行われている町民活動事業に対し、町として否定をすることは考えていません。今後は、事前に活動を知り得た場合において、広く意見を聞く機会や場所を設けるよう活動団体へアドバイスをさせていただきます。

No	意見の概要	町の考え方
15	<p>地域住民との利害の衝突があった場合に、調整を行うための対話の場が必要だと感じました。</p> <p>資料中に「一方で、過度に観光地化を進めた場合、「交通渋滞」や「環境悪化」、「マナー違反」といった、地域に対してマイナスとなる効果が現れることもあります。」とありますが、マイナス効果をどう感じるかは住民の住む場所によって大きく変わります。</p> <p>例えばですが、直近ではアートプロジェクトを地域活性による活動として動いているようですが、不穏な空気を感じるものもあります。それゆえ買い物や駅までの歩行ルートを、自分の意図とは別で変えているため、マイナス効果を感じている現状です。</p> <p>つきましては、観光事業に付随したマイナス効果を地域住民が感じた際に、意見を送れる窓口の提案、発信をお願いしたいです。</p>	<p>「地域住民との利害の衝突があった場合に、調整を行うための対話の場が必要」とのご意見については、いわゆる観光公害など、その衝突の内容に応じ適切に判断したいと考えています。</p> <p>観光事業に対するご意見や問い合わせの受付窓口は常時、産業振興課において行っております。</p> <p>なお、アートによる町民活動については、上記、No14 に対する回答と同様です。</p>
No	意見の概要	町の考え方
16	<p>都市部に住む友人が二宮に来ると、その静けさに驚きます。二宮は人が少なく、また自然豊かな環境を好む人々が暮らしているが故に、静かな環境が比較的保たれています。</p> <p>「静けさ」は気づかれにくいものです。しかし「静かなこと」「少ないこと」「広い大空があること」「広い大海があること」が人の心を落ち着け、暖めることに気づいている人が二宮には暮らしています。</p> <p>この貴重な「静けさ」という二宮の財産を大切に、安易な観光誘致ではなく、この静けさを求め、大事にする人がそっと集まり、交流するような施策を期待します。</p>	<p>本戦略は、今ある二宮町の良さを広く発信し、魅力を魅力として感じていただける方により多くおいでいただき、町と関りを持ってもらいたいという趣旨となっています。</p> <p>「静けさ」を含めた町独自の雰囲気や、町内外の多くの方々に認識していただけるよう努めます。</p>

No	意見の概要	町の考え方
17	<p>全体を通じてですが、この戦略は、町外からの方々を多く受容れるために、町の仕組み・やり方を変えていくことを町内に向けたものと受け取って良いのでしょうか。「観光まちづくり戦略」は「観光戦略」とは違うという点を理解することが難しいです。8ページの図については、つながり・順番が疑問です。例えば、観光交流人口の増大が、活力ある社会の実現につながるようになっていますが、インフラ整備や里山の保全は、むしろ、観光交流人口を増やすための投資となるのではないのでしょうか。</p>	<p>本戦略7ページに示すとおり、「観光まちづくり」とは、多様な主体が観光振興に参画することで、地域活性化を目指すものです。</p> <p>そして観光振興による交流人口の増加によって環境整備の必要性が高まることで、歩道や道路などのインフラ整備につなげたい考えです。</p>
No	意見の概要	町の考え方
18	<p>目標は掲げられていますが、観光消費額などこれまでの経緯・傾向のデータが示されていないものもあります。施策が計画通り実施されたときに、目標が達成されるのか、つながりがわかりにくいです。町は、役割の中でリーサスの活用をあげていますが、具体的にどのように活用されるのでしょうか。町民の役割の中で、観光が産業に与える影響を理解すると書いてありますが、経済寄与度もデータで示す必要があると思います。</p>	<p>計画目標の値については、いずれもこれまでの傾向等までは示していませんが、過去の傾向等を考慮して今後5年間の増加率を見込んでいます。なお、地域経済への寄与を示す数値として観光消費額を示しています。</p> <p>リーサスについては、携帯電話の位置情報などから町内観光スポットにおける滞留時間や人数、来町者の居住地などが確認できますので、観光需要を把握した効果的なPRに生かしたい考えです。目的地分析を活用した町内周遊ガイドマップの作成や近隣市町からの誘客などを検討します。</p>
No	意見の概要	町の考え方
19	<p>観光協会の役割は、町施策の実行部隊という位置づけが良いのでしょうか。むしろ、来訪者と直接触れることで様々なことをご存じで、戦略の策定から深く関わる必要があるのではないかと感じた次第です。観光協会来訪者を計画通り増やすためには、人員の配置や事務所の設置も考える必要があると思います。</p>	<p>本戦略は町全体についての観光まちづくりを目的としているため、町で作成しましたが、策定にあたり町観光協会やその関係組織において複数回にわたり議論を経ていきます。これらの経緯を5ページに「策定までの取り組み」として追記しました。</p> <p>なお、町観光協会の組織強化については、次年度に法人化に向けた準備委員会を立ち上げ検討を進める予定で、町としても本戦略18ページ、25ページに記載のとおり支援を行います。</p>

No	意見の概要	町の考え方
20	<p>町の弱みとして挙げられている里山の荒廃や商店街がシャッター通りとなっていることが観光に与える影響はどの程度あるのか？歴史遺産が少ないというのは本当か？</p> <p>「鎌倉殿の13人」の関連で言えば、釜野地区にある五輪塔は、鎌倉市付近から離れて唯一見られるものだとされているが、何の指定も受けていない。また、鎌倉古道も二宮町を通過しており、この復活も大切だと思っていますが、全く触れていないのも意外です。また、観光という視点で、町のもっている資源を分析しきっていないような印象を持ちました。湘南地域のSWOT分析を掲示するのではなく、二宮町が近隣観光地に対してどうかの分析が必要ではないでしょうか。県のデータでは、令和3年度の観光客受入数は多くの市町が増えている一方で、二宮町は前年に比べて減少しているようですが、このような事象こそ分析をする必要があるのではないかと感じました。</p>	<p>「町の強み・弱み」は第1章における関係資料として、第6次総合計画策定に伴う町民ワークショップで出された町民意見を明記したものです。</p> <p>この弱みが町の魅力の減衰につながってしまうことから、第4章に示す具体的な取り組みによって改善を図りたい考えです。また、歴史遺産が少ないと町民の皆さまに思われていることを受け止め、魅力の洗い出し・分析に努めるとともに町内外への情報発信を推進します。</p> <p>観光における二宮町の分析については、今後、リーサス等のデータを活用しながら検証していきます。</p> <p>なお、令和3年入込観光客数については、梅沢海岸フェンスの閉鎖を主な理由として前年微減（0.3%減）となっています。</p>
No	意見の概要	町の考え方
21	<p>キャッチフレーズとして提案されている「来て、見て、知って、つながって小さなまちの大きな魅力」ですが、これはどのように決められたのでしょうか。これだけでは、二宮らしさを感じられないのです。</p>	<p>本計画策定までに意見をいただいた機関等を8ページへ「策定までの取り組み」として追記しました。</p> <p>若い世代の意見を反映したい考えから、産業能率大学の学生などにも意見を伺い、このキャッチフレーズとしました。</p>